

# 千年の森便り No.234

2023.4.28

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 福島成樹 編集 真鍋昌義

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

4月16日(日) 天候 晴れ

2023年度の最初の定例活動日は、青空に新緑が映える爽やかなお天気の1日になりました。いつもはすぐに予定の作業に取りかかるところですが、今回は年度初めの活動日ということで、会の規約に基づき最初に定時総会を開催しました。定時総会では今後の活動について活発に意見交換が行われました。詳しい内容は定時総会の報告をご覧ください。



定時総会のあとは、午前中にナラ枯れ枯死木の調査、竹林の植生保護柵設置場所の検討、午後は植物観察を中心に個別活動を行いました。シジュウカラやウグイスの声が森に響き、エビネやキンラン、マルバアオダモなどの花が見られ、春の豊英島を満喫することができました。参加者は、伊藤、鶴沢、大原、苅米、清水、竹下、成沢、福島、森田の会員9名でした。(福島)

### 〇定時総会の報告

ちば千年の森をつくる会規約に基づき定時総会を開催しました。4月時点の会員数は22名、出席9名、委任状7名、会員の3分の1以上の出席があり総会は成立しました。

第1号議案の2022年度活動報告、第2号議案の会計報告については、福島代表、伊藤会計からそれぞれ報告があり、秋元監事による監査報告については代理で伊藤会計から報告があり、すべて承認されました。

第3号議案の2023年度活動計画案については、会員数が減少している中、新たな活動にチャレンジしていくという方針のもといろいろな意見が出され、刈り払い機の操作体験やチェーンソーの操作体験を活動に取り入れて、一般の方の体験参加を促すことになり活動日程に追加しました。また、高所の植物を観察するためのツリークライミングの体験を計画に加えました。また、ニホンジカの食害により島内のマダケが衰退しつつあることから、今年度はマダケの保護を目的とした植生保護柵の設置を行うこととしました。

第4号議案の2023年度予算案については、総会の直前にセブンイレブン助成金の採択が決まり、助成金を含めた新たな予算案が提示され、その形で承認されました。

第5号議案の役員案については、退会された元幹事の新井(通)さんを除いて全員が再任ということで承認されました。

修正した今年度の活動計画は以下のとおりです。なお、議案の最終版は会員の方にメールリストでお送りします。活動への積極的なご参加をよろしくお願いいたします。(福島)

## 2023年度活動計画

活動日	主な活動	摘要
4月16日(日)	定時総会、個別活動(自由活動)、(危険木伐採)	
5月21日(日)	清和県民の森ハイキング	公開行事
6月18日(日)	シカ調査、環境整備(水辺)、(危険木伐採) 駐車場・電柵付近の草刈り、刈り払い機操作体験	
7月17日(月祝)	光環境調査(夏)、ヒメコマツ下刈り、 コナラ伐採地刈り払い(状況に応じて) (危険木伐採)	
8月20日(日)	夏のきのご観察会(外部講師)	(公開行事)
9月18日(月祝)	シカ調査、環境整備(観察路、ベンチ)、 駐車場・電柵付近の草刈り、刈り払い機操作体験 (危険木伐採)	
10月15日(日)	秋のきのご観察会(外部講師)	公開行事
11月19日(日)	ホテイ岬地区整備、植生保護柵補修 チェーンソー操作体験、(危険木伐採)	
12月3日(日)	シカ調査、紅葉散策、(危険木伐採) ツリークライミング体験	紅葉時期
1月21日(日)	植生保護柵補修、(危険木伐採) コナラ伐採地刈り払い(状況に応じて)	
2月18日(日)	光環境調査(冬)、仮設倉庫補修、(危険木伐採)	
3月17日(日)	シカ調査、ヒメコマツ測定補助、(危険木伐採)	

原則として第3日曜日

7月17日(月祝)、9月18日(月祝):3連休の最終日

8月20日(日)、10月15日(日):吹春講師依頼、12月3日(日):紅葉に合わせて第1日曜日

植物・野鳥・昆虫・きのご調査等は、適宜実施する。

### ○マダケ保護ネットの検討

豊英島の活動を開始した当初(20年前)には大面積にマダケが密生しており、その除去がメインの活動だった時期があります。マダケは数年続けて伐採するとおとなしくなり、ホテイ岬の一面をマダケ林として位置付け本数調査などをしながら、仮設テーブルの材料等に有効活用してきました。

ところが、最近ニホンシカのタケノコ食害が著しいことからマダケ林に保護ネットを再度設置する必要性が総会で提案されました。総会后に、苅米さんが中心になってホテイ岬のマダケ林の実態を改めて調査し、保護ネットの位置・延長を検討しました。今後詳細を詰め、年度内には設置する予定です。(伊藤)

## ○ナラ枯れ枯死木調査

豊英島では、2019年9月にカシノナガキクイムシのコナラに対する穿孔が初めて確認され、今年で5年目です。毎年、年数回のナラ枯れ枯死木調査を実施していますが、今回も新たな枯死木の調査を行いました。新緑のこの時期は、葉の有無がよくわかります。

記録の対象としたのは、1本の幹の葉がすべて又はほとんど枯れたものとし、株立ちの一部の幹の葉が枯れたものは、葉が枯れた幹の本数を記録しました。過去の調査では、枯死木にマーカーとして、年ごとに赤色や青色等のテープを巻いていますが、今回は黄色テープを巻き、過去のものと同様に識別できるようになっています。

今回の調査では、新たに100本程度の枯れを確認しました。ここ数年、枯死木の伐倒処理を進めて参りましたが、来年以降もまだまだ対応は続きそうです。活動区域の安全確保のためにも、枯死木調査と伐倒処理に取り組んで参ります。(成沢)

### 豊英島 新緑の森を散策

定期総会は新緑の森(豊英島)で開催されました。天気も良く、そよそよと吹く風が気持ちよいです。心惹かれる今年度の活動計画に今年ではできる限り参加したいと思いました。

総会後はナラ枯れの被害に遭ってしまったコナラの木にマーキング。黄色いテープを巻いていきます。新緑の木々の中、枯れ木を捜すのは容易です。ただ、枯れ木の多さに驚き、悲しくなりました。

昼食後は島の散策です。伐採した後の草地部分は、チゴユリが一面に咲いています。次は、エビネです。あちらこちらに沢山咲いています。エビネは鹿の食害に遭わないのか?齧られてしまっているものもあるけれど?今年は花の成長が早く鹿に食べられることなく開花?なんてことを考えながら散策。香りのするエビネとしないエビネがあると教えていただき、灰かに甘い香りがした気がします。そして、黒い針金のような枯れ茎を残すトサノクロムヨウランを見つけ大喜び。開花時期は7月かしら?楽しみでなりません。

「ここにはキンランやギンランは咲かないのですか?」の私の質問にギンランに似た小さなユウシュンランが咲くという、皆で探しているとキンランが咲いていました。ギンランらしき植物も見つけ、ユウシュンランは探すことできませんでしたが、もしかすると来月には咲いているのを見つけれられるのかもしれない。楽しみです。(森田 弘美)



エビネの群生



白っぽいエビネ



キンラン



トサノクロムヨウラン

## ○春の花たち

フデリンドウ、フモトスマレ、チゴユリも咲いていました。



フデリンドウ(清水)



フモトスマレ(清水)



チゴユリ(清水)

## ○アオダイショウの記録

春暖かい陽気の中、エビネを探していたら、視界の中にウニョロウニョロ動くものが！ 体長 120 cm程のアオダイショウでした。とても素早く逃げていくので、なかなか写真に収められなかったのですが、載せた写真は何とか撮れた数枚です。

このヘビさんは、逃げていく途中、しゃがみこんでエビネを撮影していた M さんの足の間をスルスルと抜けていきました。M さんの悲鳴とともに……。 (成沢)



アオダイショウ(ヘビが苦手な人ごめんなさい)

## ○フィールド整備が急務であることを実感

当日は午後から強が風になるという予報があり、作業は避けた方が良くかと思っておりましたが、終日穏やかな天候に恵まれ、春爛漫の島内の各所を散策することができました。

島内の各所では特にエビネの花がほぼ満開状態となっており、大変綺麗でした。また、来月はトサノクロムヨウランの花が見られるかもしれないなど、今後も散策をする機会が目白押しです。一方、足元にばかり集中していると、どうしても頭上への注意が「お留守」になってしまいがちです。みなさんが安心して散策や観察ができるよう、安全第一で枯死木の整理を進めていきたいと思えます。ご安全に！ (竹下)

## お知らせ

○次回の定例活動は 5 月 21 日 (日) です。

今年も公開行事として清和県民の森のハイキングを予定しています。運営スタッフが必要になりますので積極的にご参加をお願いします。

**集合場所は、県民の森事務所の下駐車場になりますのでお間違いなく。集合時間は 9 時 30 分の予定です。**詳しい内容はメールでお知らせします。なお、島に入る際は危険防止のためヘルメットの着用をお願いします。